

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
（販売開始（平成13年12月）から平成21年3月31日まで）

No	識別番号	性別	年齢	一日用量	併用薬	副作用	経過	経過の概要	副作用No	備考
140	B-05023468	男性	10歳	105mg		異常行動	軽快	発熱(38.7℃)、頭痛、咳にて本剤処方。本剤投与後、異常行動発現(異常な発言とともに布団を持ち上げた後、急に外に向かって走って出ていこうとした)し、入院。 入院後は異常言動出現なし。 翌日、解熱し、本剤投与中止。異常行動回復。	異常-118	
141	B-05024270	女性	10歳	114mg	アセトアミノフェン 臭化水素酸デキストロメトルファン 塩酸アンブロキシソール クラリスロマイシン	情緒障害 退行行動	回復 回復	A型インフルエンザで発熱(39.2℃)が見られ、リン酸オセルタミビル投与開始。初回投与開始から2～3日目に情緒障害と異常行動が発現。情緒障害と異常行動が約10日に回復した。 アセトアミノフェンはリン酸オセルタミビル投与開始1～2日間に併用されており、臭化水素酸デキストロメトルファン及び塩酸アンブロキシソールはリン酸オセルタミビル投与開始から4日間投与された。	異常-119	
142	B-05024606	男性	10歳	108 mg	ヒベンズ酸チペピジン 塩酸アンブロキシソール	異常行動	回復	A型インフルエンザで発熱(38.3℃)が見られ、リン酸オセルタミビルの服用を開始。投与開始当日の夜間に異常行動(「学校へ行く」と言い、ランドセルを背負って外出しようとする。)発現。また、投与開始から2日目の夜間にも異常行動(悪夢を見て怖いと言い、外出しようとする。)発現。投与開始2日まででリン酸オセルタミビルの服用を中止し、投与開始5日目に異常行動が回復した。	異常-120	
143	B-06010806	男性	10歳	114mg	鎮咳配合剤(1) カルボシステイン アセトアミノフェン	譫妄	回復	B型インフルエンザの治療のためリン酸オセルタミビルの服用を開始した。服用開始から1日目の夜にせん妄が発現し、翌日の朝に回復した。服用開始から2日目の夜にせん妄(起き出すなど)が発現し、翌日の朝に回復した。リン酸オセルタミビルは服用開始から6日目の朝まで服用したが、これ以外の症状は見られなかった。	異常-121	
144	B-07000166	女性	10歳	75 mg	リン酸ジメメルファン 塩酸シプロヘプタジン 塩化リゾチーム トラネキサム酸	異常行動	回復	インフルエンザA型にてリン酸オセルタミビル処方。服用2日目、朝本剤服用2時間後、体が熱い症状訴え、目を放した隙に一人で靴を履き玄関を出ようとしていたのに家族が気付き制止。本人は覚えていないとの事。その後、寝かした。服用から4時間後、睡眠より覚醒。意識清明。本剤中止。同日、異常行動回復。	異常-122	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
（販売開始（平成13年12月）から平成21年3月31日まで）

No.	事例番号	性別	年齢	一回用量	併用薬	副作用	経過	経過の概要	前回公開No.	備考
145	B-07002856	男性	10歳	不明		異常行動	不明	リン酸オセルタミビル服用2時間後、寝ていたが、笑って起きだし廊下を走り出した。「どうしてかわからないが、笑いたくなったし、走りたくなった」と本人が説明。	異常-123	
146	B-07012021	男性	10歳	100 mg		譫妄 意識変容 状態	回復 回復	リン酸オセルタミビルを昼、夕に服用。夜中、トイレに起きたとき、興奮状態となり飛び出そうとした。両親の顔が分からなかった。翌日、意識清明となった。	異常-124	
147	B-07012054	男性	10歳	60 mg	ヒベズ酸チベジジン カルボシステイン メキタジン	異常行動 異常行動	回復 回復	インフルエンザB型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。本剤服用後、保護者が不在であったが、最後に見たときは睡眠中。ボーっと寝ていて不安になり、怖い人がきたと思ってマンション7階のベランダから下をのぞき、その後、裸足で階下の友達の家に行き、保護。その1時間後、来院。来院時、体温38.4℃、意識清明。夜、睡眠中起きだして、「外へ出たい」と言い、ベランダの方へ行き、カーテンを開けて出ようとした。家人が阻止すると、「星が見たい。弟が下にいる」と言って、玄関の方へ行行って外へ出ようとする。20分くらいで落ち着いてきた。	異常-125	
148	B-07013136	男性	10歳	114 mg		異常行動	回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル服用開始。昼・夜に服用。翌早朝、普段している眼鏡を階段において玄関から外に出ようとして、セコムが反応したため外に飛び出すことはなかった。	異常-126	
149	B-07013247	男性	10歳	75 mg	プレドニゾン 塩酸エブラジノン セラペプターゼ 塩酸アンブロキソール クラリスロマイシン	異常行動	回復	入院にてリン酸オセルタミビル服用開始。服用2日目、朝、服用から15分後に突然病室から走り出しトイレに駆け込み失禁した（この時点では解熱していた）。本剤中止。その後は正常となり退院。	異常-127	
150	B-07013255	男性	10歳	120 mg	桂麻各半湯 ドンペリドン 黄耆建中湯	異常行動	回復	高熱のため受診。インフルエンザA型治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。夕、本剤服用後、一度睡眠に入るが、突然立ち上がり家の中を飛び跳ねる。外に出ようとしながら意味のわからないことを口走り、家人二人で外に出るのを止める。しばらくこの症状は続いたが、落ち着きを取り戻し、再び睡眠。服用2日目、熱はあるものの、前日のような異常な様子は認められない。	異常-128	
151	B-07013386	女性	10歳	不明		異常行動	回復	インフルエンザで来院、リン酸オセルタミビルを処方され、帰宅し服用。夕方、突然靴下を履き暴れて外に飛び出した。母親が押え付け、何事にもならなかった。同日、異常行動は回復。	異常-129	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
（販売開始（平成13年12月）から平成21年3月31日まで）

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	経過	経過の概要	前回のNo	備考
152	B-07021901	女性	10歳	150 mg		異常行動	回復	服用2日目、二段ベッドの上の段に寝ていたところ、急に起きてきてベランダに走ってきて、母に「リカちゃんがかげから落ちたんじゃないか、どうなったのか」と聞いた「リカちゃんは大丈夫だから」と話して納得させたが、その時のことを本人が覚えていない。夕食時、ベッドで寝ていた本人に食事を運んでいったところ、起きていたが訳の分からないはっきりしないことを言う。	異常-130	
153	B-07027206	男性	10歳	120 mg/kg	フマル酸クレマスチン 臭化水素酸デキストロメトルファン・ クレゾールスルホン酸カリウム カルボシステイン アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザA型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。自宅にて1回目服用後、就寝。服用約3時間後、急に起き上がり、二階寝室から一階玄関まで走って行き、外へ走り出て行く。その際に「こんな家には住めない」と大声で叫んだりした（大きな岩が自分に向かって転がってくる幻覚があったとのこと）。事象発現約30分後、家族が静止し、その後就寝。1回目服用5時間30分後、2回目服用し、朝まで就寝。夜中に寝ぼけた状態があったが、朝には正常であった。服用2日目、本剤の服用は中止し、様子を見る。発熱あるも、異常行動はなし。	異常-131	
154	B-08027575	男性	10歳	52 mg	クラリスロマイシン フェンジソ酸クロベラスチン 塩酸アンブロキソール アセトアミノフェン	異常行動	回復	朝、咳嗽、37℃の発熱、倦怠感あったため、学校を休む。その後発熱なかったが、夕方に発熱したため病院へ行く。インフルエンザA型の診断を受け、リン酸オセルタミビル、抗生物質等を処方。夜、抗生物質等を服用。夜中に発熱するも、睡眠中のため本剤服用せず。 翌朝アセトアミノフェンを服用。その3時間後に本剤服用し、入眠。 服用約2時間後に異常行動、精神神経症状発現。突然おき、何も言わずトイレに行く（いつもはトイレに行くと言う）。便座に座って笑ったり、意味不明のことを言う。便が出て水を流した頃に意識戻るもその間の記憶なし。その間15～20分であった。熱は高くなかった。当院に相談され、本剤中止し他の薬は継続。 本剤服用中止から1日目、ザナミビル水和物を処方。症状発現は以後なかった。		2008/4/1以降 新規報告
155	B-05023595	男性	11歳	60mg	アセトアミノフェン ドンペリドン	異常行動 幻覚	回復	発熱、関節痛、悪寒、咳、咽頭発赤にて、確定診断後本剤、カロナー、ナウゼリン処方。 本剤投与後、幻覚症状（怖がって逃げる）、異常行動（異常な発言をする、「怖い、怖い」と泣く）発現。 1時間後、改善	異常-132	
156	B-05024102	男性	11歳	75 mg	カルボシステイン 塩酸ホモクロルシクリジン 臭化水素酸デキストロメトルファン アセトアミノフェン	異常行動	回復	A型インフルエンザで発熱(38.2℃)が見られたため、リン酸オセルタミビルが処方された。リン酸オセルタミビルを夕方に服用後、翌日の0時40分頃に異常行動が発現し、団地2Fのおどり場より転落した。脳挫傷、頭蓋骨折、両大腿骨骨折。	異常-133	
157	B-06024935	男性	11歳	72mg		異常行動	回復	妹に処方されたリン酸オセルタミビルを服用。同日夜、突然の発熱(40℃台)あり。本剤服用約10時間後の翌朝、突然起きて異常行動(徘徊、大声で叫ぶ)発現。訳の分からないことを叫び走り出したので、押さえ込む。しばらくした後、意識が戻る。 インフルエンザA型と診断された。	異常-134	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
（販売開始（平成13年12月）から平成21年3月31日まで）

No	個別番号	性	年齢	体重	服用薬	副作用	経過	経過の概要	副作用No	備考
158	B-06025190	男性	11歳	75 mg		異常行動 幻聴	回復 回復	高熱(39.4℃)で来院。インフルエンザA型に対して夜より本剤服用。 翌日の午後、異常行動、幻聴発言し、トイレの窓より飛び出し自宅のまわりを裸足で走り、川の中まで入った。 夜、服用中止。家族がつきそう。 2日目、受診し、脳症を疑ったが、解熱しており、意識状態正常と診断。 幻覚、異常行動、幻聴回復	異常-135	
159	B-06026130	男性	11歳	50 mg		異常行動 激越	回復 回復	インフルエンザB型。ウロウロ家の中を数回歩き回った。ウーと天井に向かって両手を突き上げ、手を握りしめた。その後ガラス戸を足で叩いて、ガラスを割ってしまった。左足を切って、外科で縫合した。翌日は全て元に戻った。	異常-136	
160	B-06026540	男性	11歳	150mg	メキタジン 塩酸エブラジノン カルボシステイン	異常行動	回復	リン酸オセルタミビル服用3回目に精神錯乱。母親が止めるにもかかわらず何度もドアを開けて外に出ようとした。精神・神経障害発現。熱が下がってからは何事もなかったように回復。	異常-137	
161	B-07000058	男性	11歳	75 mg	d-マレイン酸クロルフェニラミン ヒベンズ酸チペピジン カルボシステイン ラクトミン	異常行動	回復	2階へ急に上がって行き、飛び降りた。打撲程度。意識ははっきりしていた。	異常-138	
162	B-07000111	男性	11歳	150mg	リン酸ベンプロベリン メキタジン ラマトロバン	異常行動	回復	インフルエンザA型治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。服用開始2日目朝、体温:38.8℃。夜中、異常行動あり、布団に座って「キャッシュが卒業して」と言いながら泣いている。就寝。その後、異常行動なし。 服用開始3日目、インフルエンザ軽快。 服用開始5日目、朝、38℃の発熱、夕、39℃。来院時37.4℃。B型インフルエンザと診断し、本剤処方。夕方、本剤服用。同日、夜中、トイレにこもる、階段の昇り降りを繰り返すなどの異常行動、異常言動が発現。その後、異常行動回復。	異常-139	
163	B-07000121	女性	11歳	150 mg	カルボシステイン d-マレイン酸クロルフェニラミン 臭化水素酸デキストロメトルファン	異常行動	回復	早朝、39℃の発熱、鼻汁、咽頭痛、頭痛を認め、午前中来院し、A型インフルエンザと診断。同日、昼・夜、リン酸オセルタミビルを服用。服用2時間後、1階にいた家族の知らないうちに、2階より寝巻き裸足のまま家を出て、近くの家で保護されていた。落ちたのか飛び降りたのかは不明。本人は夢が怖くて窓のシャッターを開けベランダから外に出たといっているが、よく覚えていないとのこと。翌日は意識も清明で特に異常所見は認められなかった。	異常-140	
164	B-07000131	女性	11歳	65 mg	カルボシステイン 臭化水素酸デキストロメトルファン アセトアミノフェン クラリスロマイシン ヒベンズ酸チペピジン 塩酸アンブロキソール 塩酸シプロヘプタジン	異常行動 激越	回復 回復	インフルエンザB型と診断され、親の希望でリン酸オセルタミビル処方。朝から服用開始。翌日、異常興奮発現。解熱。服用3日目、気分高揚、妄想発現。自宅のソファの背もたれの上に立ち上がってから、床に向かって顔から転落。口腔内から出血するなどした。受診後、帰宅途中にガードレールを越えて車に飛び込もうとしたため、ガードレール越しに祖母がつかまえたが、勢いがあり祖母が転倒して顔面打撲した。翌日、異常興奮、気分高揚、妄想回復。	異常-141	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
（販売開始（平成13年12月）から平成21年3月31日まで）

No	識別番号	性別	年齢	一日用量	併用薬	副作用	経過	経過の概要	前回公開No	備考
165	B-07000163	男性	11歳	100 mg	ヒベンス酸チベジジン 塩酸レセルビリン酸ジメチルアミノエチル カルボシステイン 塩酸シプロヘプタジン	譫妄	回復	インフルエンザAと診断され、リン酸オセルタミビルを投与開始。同日昼、異常行動発現。本剤服用3時間後、2階に駆け上がり、黒いものに追いかけられ、イタイイタイと叫んだ。翌日、異常行動回復。投与4日後、本剤投与終了。	異常-142	
166	B-07000260	女性	11歳	不明		幻覚	回復	3年前からリン酸オセルタミビル投与中に幻覚がみられた（過去には夜に一人で外をふらつく）。本年、インフルエンザ発症。リン酸オセルタミビル投与開始。翌日、幻覚を見てドアにぶつかり額に裂傷を負う。	異常-143	
167	B-07000274	男性	11歳	100 mg	臭化水素酸デキストロメトラン 塩酸アンブロキソール	異常行動	回復	39℃の発熱、咽頭痛、咳あり。インフルエンザB型と診断され、リン酸オセルタミビル処方。本剤、臭化水素酸デキストロメトラン、塩酸アンブロキソールを内服。服用約1時間後、1階にて寝ていたが覚醒し、階段を半分まで上がり、母が駆けつけると驚き泣く。1階へ連れ戻すと玄関を指差し怯える。部屋へ連れてはいると騒ぐ。布団に入れたが体中に力を入れ唸る（約5分間）。急に立ち上がり胸を両手でおさえる。母が抱きしめていると落ち着き就寝。服用8時間後、本剤服用するものの、2/3は吐き出す。服用1時間後、目を覚まし、起き上がり、掃除機のホースに足を入れようとする。本人は夢でマンションから飛び降り、痛みはなく、起き上がり歩こうとした。掃除機に足を入れようとしているところで現実に戻ったが、自分の体を止めることができなく、その後、記憶がなくなったとのこと。	異常-144	
168	B-07003018	男性	11歳	52.5mg	トラネキサム酸 塩酸ツロブテロール フマル酸クレマスチン カルボシステイン アセトアミノフェン	異常行動	回復	発熱、咽頭痛、咳あり。インフルエンザB型と診断された。夕方、リン酸オセルタミビル服用。本剤服用1時間後、突然睡眠から覚醒し、立ち上がり「テスト」と言って階段を登って、2階に上がろうとした。制止して様子を見ると、ニヤリと笑った。その後も家の中をふらふらとした。服用は1回で中止し、再び入眠。翌日、異常行動回復。本人に聞いたところ、昨日のことを覚えていなかった。	異常-145	
169	B-07003581	男性	11歳	64.005mg	モンテルカストナトリウム 塩酸クレブテロール 塩酸アンブロキソール クロモグリク酸ナトリウム 塩酸プロカテロール リン酸ジメモルファン フマル酸クレマスチン アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル服用。その後寝かせたが、1～2時間してから起きてきて友達の家遊びに行くといい出し、無理に外出しようとした。抑えて寝かせつけた。その後はニコニコと笑っていて手足がピクピクと動いていた。しばらくすると治まり、その後服用は中止。以後、異常行動はみられていない。本人も記憶にないとのこと。	異常-146	
170	B-07003786	男性	11歳	150 mg	塩酸セフカペンピボキシル リン酸ジメモルファン アセトアミノフェン 塩化リゾチーム	異常行動 幻覚	回復 回復	インフルエンザ確定診断実施し、B型と診断。リン酸オセルタミビル服用開始。2階で臥床していたが、大声を出し、階段を駆け下りてきた。その後、服用を続けていたが異常なし。	異常-147	
171	B-07011102	男性	11歳	不明		異常行動	不明	39℃の熱が続き、キットでは陰性だったが、医師の経験上の判断でインフルエンザと診断し、リン酸オセルタミビル処方。服用2日目、朝、本剤服用後、2階から1階へ突然走り出し、外へ飛び出ようとしたところを家族に制止された。その時顔は赤らんでいて、何も覚えていないとのこと。	異常-148	
172	B-07013215	女性	11歳	144mg	塩酸セフカペンピボキシル 塩酸トリプロリジン 桜皮エキス セネガ アセトアミノフェン	譫妄	軽快	体温は37.8℃。インフルエンザB型治療のため、リン酸オセルタミビル処方。本剤服用後、就寝1時間後（本剤服用7時間後）、突然起き階段を「怖い怖い」と言いながら走っておりてきた。15分～20分振っていた。服用2日目、朝、せん妄軽快。その後、服用3日目まで、本剤服用。	異常-149	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
（販売開始（平成13年12月）から平成21年3月31日まで）

No.	薬剤名	性別	年齢	用量	成分	症状	経過	経過	経過	経過	経過
173	B-07013227	男性	11歳	150 mg	クラリスロマイシン 鎮咳配合剤(1) メキタジン カルボシステイン	激越 浮動性めまい	回復 回復	インフルエンザA型に対して、リン酸オセルタミビル服用。1回目服用後、すぐに嘔吐。母親の判断にて約6時間後に2回目服用。その後就寝。突然起き出し外に飛び出したところを家人におさえられる。2、3分にて本人が気付き状況確認すると、とても恐い夢をみたとのことだった。	異常-150		
174	B-07013315	男性	11歳	80 mg	カルボシステイン フマル酸ケトチフェン 塩酸プロカテロール アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザA型治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。服用約1時間後、急に走り出して外へ出て行こうとした。母親が制止したが、暫くボーとしていた。その後、異常行動回復。	異常-151		
175	B-07013316	男性	11歳	67.5mg		異常行動	回復	インフルエンザA型に対して、リン酸オセルタミビル服用。服用2日目、午後、昼寝の最中突然起き上がり、玄関に向かって走り出した。意味不明な言動もみられた。母親が制止し、声をかけたところ、我に返り部屋に戻るが、行動、言動については記憶がない。事象発現30分後、異常行動回復。以後は症状みられず。	異常-152		
176	B-07013379	男性	11歳	67.5mg	ヒベンズ酸チペピジン フマル酸クレマスチン 塩酸セファケンビボキシル	恐怖 うつ病 激越	回復 回復 回復	インフルエンザB型治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。服用2時間後、一過性の怖れ(驚怖)、嫌世(強いうつ?)、興奮状態発現。服用2時間30分後、就寝後、驚怖のため家の外へ飛出そうとする。その後、この世はいやだ、死にたいと繰り返す。その後、就寝。服用5時間30分後、再び就寝中に数分～5分内の恐怖の発現が有り。服用7時間30分後、就寝中に再び数分の興奮有り。数分～5分で改善。服用2日目、一過性の怖れ(驚怖)、嫌世(強いうつ?)、興奮状態軽快。何事もなくくめざる。その後、特に異常なく元気だが、興奮中のことは憶えていない。	異常-153		
177	B-07013383	男性	11歳	75 mg	アセトアミノフェン	異常行動	軽快	インフルエンザA型の診断にてリン酸オセルタミビル処方。服用1時間後、急に家を飛び出し、家の周囲を1周し、帰って来て笑っていた。その後、異常行動は回復、本剤中止を指示して再発なし。	異常-154		
178	B-07013387	女性	11歳	150 mg	非ピリン系感冒剤(4) アセトアミノフェン	異常行動	軽快	インフルエンザB型に対して、リン酸オセルタミビル服用開始。服用2日目、2回ほど家を飛び出そうとしたが、親が止めたため、大事には至らなかった。本剤中止。服用3日目、異常行動軽快。	異常-155		
179	B-07018037	男性	11歳	75 mg	d-マレイン酸クロルフェニラミン ヒベンズ酸チペピジン 塩酸アンブロキソール 塩化リゾチーム ツロブテロール	異常行動	回復	インフルエンザA型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。服用1日目、本剤服用1時間後、突然飛び起き、目を見開いて走り出す。30分程度で症状はおさまる。異常行動を覚えていない。	異常-156		
180	B-07018716	男性	11歳	75 mg		異常行動	回復	リン酸オセルタミビル服用後、2時間ほどで奇声を発し、3階から飛び降りようとしたとのこと、家族が当院を受診し、入院経過観察することとなった。翌日、異常行動は回復。	異常-157		

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
（販売開始（平成13年12月）から平成21年3月31日まで）

No	製剤番号	性別	年齢	一日用量	投与薬	副作用	経過	経過の概要	副作用No	備考
181	B-07007902	女性	11歳	72 mg		痙攣 異常行動	回復 回復	発熱が発現し、受診。インフルエンザ迅速検査は陰性であったが、インフルエンザ疑いにてリン酸オセルタミビル処方。 服用後興奮状態となり、靴を片方持って突然ベランダに飛び出すといった異常行動発現。痙攣発作が発現し、当院受診。 来院時は意識清明。インフルエンザ迅速検査にてB型陽性。 頭部CTは異常なく、髄液検査など施行後、経過観察とした。夜間、体温は40℃まで上昇あり、異常言動出現。その後意識レベル清明。頭部MRI施行し、拡散強調画像で、脳梁膨大部に高信号域を認めた。MRI所見は可逆性（一過性）の病変であった。 本剤服用終了から6日目、完全に解熱し、全身状態良好となり、その後退院。	異常以外-172	2008/4/1以降 追加報告
182	B-08001550	男性	11歳	120 mg		異常行動	回復	ウイルス診断を行い、インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビル服用開始。 夜トイレに入り、その後電気をまぶしがり、扉の開閉を繰り返し、足元から何か這い上がってくるものを払いのけた後、リビングの方へ走って行き、何かに追われている様に怯えながら逃げまわっていた。その後、2～3時間おきに2回同様な行動をとった。「外に行く!」と言っていたので、制止した。その後、本剤服用中止。		2008/4/1以降 新規報告
183	B-08009394	男性	11歳	75 mg	d-マレイン酸クロルフェニラミン ヒベンズ酸チペピジン 塩酸アンブロキソール 塩化リゾチーム	異常行動	軽快	インフルエンザB型治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。 服用2日目、15分間で3回トイレに立て続けに行く。無意味な動き発現。 無意味な動き軽快。無意味な動きの記憶なし。 本剤服用終了から2日目、インフルエンザ軽快。		2008/4/1以降 新規報告
184	B02-12377 (B07002859)	男性	12歳	150mg		低体温	回復	インフルエンザキット陽性にて、リン酸オセルタミビル服用開始。本剤服用後、幻視、低体温、暴れたため、家族がおさえた。体温は服用後、34～35℃になった。再度服用したところ、再度幻視出現し、低体温、暴れるなどの症状が出現し、再び家族におさえられて治まった。その後本剤は中止とした。服用開始2日目、3日目と低体温が続くが、服用開始4日目に低体温回復。	異常-158	
185	B-03011945	男性	12歳	75 mg	非ピリン系感冒剤(4)	異常行動	回復	診断キット(一)だが、リン酸オセルタミビル150mg/日及び非ピリン系感冒剤を処方。夜、1回分を服用後、翌明け方、39℃の熱と、意味不明の発言、尿失禁あり。朝、本剤を内服し、午後から解熱。夕方、意味不明の発言が見られ、玄関とは全く違う方向へ歩いていこうとしたが、家人の呼びかけで元に戻った。受診したが、受診時は意識清明。内服薬を中止し、入院して様子を見たが、異常行動はなかった。	異常-159	
186	B-04009035	男性	12歳	150mg	セフトレキシム D-マンニトール アシクロビル 塩酸セフトリアム	異常行動	回復	インフルエンザB型と診断、リン酸オセルタミビル150mg/日及びセフトレキシム等処方され内服。同日夜、突然「苦しい」と顔つきが異常になり、自宅2階の窓から飛び降りた。救急車で来院時、意識清明。投与開始から6日目で本剤の投与終了。	異常-160	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
（販売開始（平成13年12月）から平成21年3月31日まで）

No.	個別番号	性別	年齢	用量	薬剤名	副作用	経過	経過の概要	個別番号	経過
187	B-05023672	男性	12歳	60mg	臭化水素酸デキストロメトラン メキタジン ラクトミン	異常行動	回復	発熱(39℃)、咳、鼻症状、消化器症状にて確定診断後本剤内服し就寝。 その後、異常行動発現(トイレに行こうとするが、様子がおかしく、その後突然外出し、団地4階より階段を下りて下にある自転車で行き出す。奇声を上げる)。 15分後帰宅するが、意識がぼーっとしており、発語もはっきりせず、朝まで経過。 翌朝、起床時には回復。その後夜間診療まで、異常行動なく、受診時も、意識清明、問題行動なく、解熱、インフルエンザ症状軽減。	異常-161	
188	B-05023790	男性	12歳	66 mg		異常行動 意識変容 状態 橈骨骨折 下肢骨折	回復 回復 不明 不明	A型インフルエンザの診断後、リン酸オセルタミビルを服用した後、自宅マンションの2階より転落。意識障害や異常行動が発現していた。4～5日目も夜間にうわごとがあった。13日目には意識障害と異常行動が回復していた。	異常-162	
189	B-05024838	男性	12歳	150mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	発熱(38.5℃)が見られ、リン酸オセルタミビルの服用を開始した。投与開始日の2回目服用から約30分後に、就寝中より突然起き出して父親に抱きついたり、母妹に意味不明な言葉を発する等の異常行動が発現し、約30分間持続した。その後、異常行動から回復した。	異常-163	
190	B-05025582	男性	12歳	150mg	アセトアミノフェン 臭化水素酸デキストロメトラン シャゼンソウエキス	異常行動	軽快	A型インフルエンザ治療のためリン酸オセルタミビル服用開始(39℃)。2回目服用後、異常行動(部屋の中をぐるぐる回る、2階から飛び降りようとする等)発現。父親が取り押さえ約40分後異常行動(わめいたり暴れたり)軽快し眠った(39℃以上)。翌朝解熱(36.7℃)し意識は正常で異常はなかった。母親の話では1年ほど前にも発熱した際に今回のようにひどくはなかったがうなされたことがあった。	異常-164	
191	B-06007798	男性	12歳	150 mg	アセトアミノフェン	死亡 損傷	死亡 死亡	発熱があったため、家族に処方されていたリン酸オセルタミビルを75 mg/日服用。その後、熱が下がらないことから、左記併用薬を服用。同日夕方、自宅のある高層住宅の駐車場で心肺停止状態で発見され、病院に搬送されたが死亡。 【解剖所見あり】	異常-165 死亡-12	
192	B-06012472	女性	12歳	75 mg	アセトアミノフェン クラリスロマイシン カルボシステイン	意識変容 状態	回復	B型インフルエンザで発熱(38.8℃)が見られ、リン酸オセルタミビルの服用を開始した。服用開始から3時間弱で意識障害(窓の方へ駆け出し、叫ぶ)が発現し、入院することになった。リン酸オセルタミビルの服用は中止し、塩酸プロカテロールの服用を開始したが、その日の夜に意識障害が見られた。リン酸オセルタミビルの投与開始から6日目にインフルエンザ症状が軽快し、意識障害も回復した。	異常-166	
193	B-06024212	男性	12歳	75 mg		意識変容 状態	回復	発熱(40.5℃)、咳、鼻症状、インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビル処方。本剤服用当日、意識障害(名前、自分の年が言えず)発現。投与翌日、意識障害回復。	異常-167	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
（販売開始（平成13年12月）から平成21年3月31日まで）

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	経過	経過の要約	前回のNo	備考
194	B-06024534	男性	12歳	150 mg	臭化水素酸デキストロメトランファン d-マレイン酸クロルフェニラミン アセトアミノフェン	異常行動 転倒	軽快 軽快	インフルエンザA型と診断後、リン酸オセルタミビルを投与。本剤服用開始当日夜から翌日朝にかけて、異常行動（突然裸になり踊るなど）あり。発熱持続。2日目午前中に服用後、夕方、母親が目を見失った間に、2Fベランダから飛び降り、直後から走り回る。TAMIFLU キットにてインフルエンザA型と診断。家族への説明後、リン酸オセルタミビル等処方。服用1日目夕、本剤2回目服用後、夜から朝にかけて、突然裸になり、踊る等の行動あり。服用2日目夕、家族が目を見失った間に、2Fベランダから飛び降り、直後から走り回る。入院。入院時、記憶はなし。	異常-168	
195	B-06024909	男性	12歳	150 mg	ブラプロフェン 塩酸アンブロキシール	異常行動	回復	発熱(37.8℃)、咳、倦怠感あり、インフルエンザB型と診断され、リン酸オセルタミビル投与開始。投与翌日、外を走っているところを見つけられ、家に連れ戻されたが、2階へ駆け上がり窓を開けて飛び降りた。	異常-169	
196	B-06025101	男性	12歳	75mg	アセトアミノフェン	異常行動	不明	本剤服薬2時間後に幻覚をみて、異常行動（裸足で外に飛び出した。）出現。帰宅後、自ら電話し、救急車で他院に搬送。点滴により落ち着き帰宅。夜になると怯えてしまう。昼間は問題なし。 その後も就寝後1時間くらいでおきだして、錯乱状態となる。5日後、解熱。7日後、通学し始める。 就寝後の錯乱状態が続くため、他院受診。「夜驚症」と診断される。	異常-170	
197	B-06025576	女性	12歳	150mg		異常行動	回復	本剤処方の昼食時に服用。 その夜、異常行動発現（突然泣き始め、素足で土間の方へ飛び出し「目がとれた」と叫ぶ）。 約10分で落ち着き、両親がおさえる。体温(37.5℃) 翌朝から、本剤服用再開、その後異常行動なし。本剤投2日後、外来受診し、異常行動回復となる。	異常-171	
198	B-06026630	男性	12歳	150 mg	アセトアミノフェン	異常行動 転倒	軽快 軽快	インフルエンザBと診断され、昼と夜にリン酸オセルタミビル内服。突然2階にかけ上がった。母が追いかけてつかまえて1階に連れ戻したが、その後、もう一度2階にかけ上がり、母も追いかけたが間に合わず、ベランダへ出、飛び降りた。本人は飛びおりた時の記憶はない。	異常-172	
199	B-07001302	女性	12歳	75 mg	ヒベンズ酸チペピジン カルボシステイン アセトアミノフェン	痙攣 浮動性めまい 異常行動	回復 回復 回復	インフルエンザA型治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。本剤投与1回目の就寝2時間後、徘徊し、2階の階段から転落。痙攣が10分ほど持続。事象発現から30分後、意識が戻り、その後は問題なし。	異常-173	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
（販売開始（平成13年12月）から平成21年3月31日まで）

No	識別番号	性別	年齢	用量	剤形	副作用	経過	経過の概要	前回のNo	備考
200	B-07001361	女性	12歳	150mg		異常行動	軽快	インフルエンザB型治療のため、リン酸オセルタミビル処方。服用2回目で突然立ち上がり、廊下に飛び出す。わけのわからない事を叫び、暴れる（約3分間1回きり）。家族がおさえつけて制止した。服用開始5日目、服用終了。	異常-174	
201	B-07001523	男性	12歳	75 mg	塩酸アンブロキシール 塩酸シプロヘプタジン 塩酸ホミノベン アセトアミノフェン	意識変容 状態	回復	数日前より症状あり、一般用の感冒剤を服用。翌日、発疹あり受診。インフルエンザA型陽性のため、リン酸オセルタミビル処方。1回目服用1時間後、両上肢拳上、訳のわからないことを言いながら、こたつの周囲を10回ほど回った。その後紙製のふたをにぎりしめていた。このため救急車で来院。怒りっぽく荒々しい言動であった。CT異常なし。眠気あり。その翌日午後、意識清明となる。	異常-175	
202	B-07002664	男性	12歳	150 mg	アセトアミノフェン 鎮咳配合剤(1) 塩化リゾチーム d-マレイン酸クロルフェニラミン	錯乱状態 強迫性障害	回復 軽快	インフルエンザB型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。昼前に本剤服用。夕方、解熱。同日夕方、2回目服用後に就寝。就寝1時間後、起きた時に錯乱状態になり、家族が押さえる。症状は約30分間続き、回復。投与中止。投与中止1日後、朝、37.3℃。起床後すぐに「手洗い」を始め、その後もずっと手を洗い続け、1日に30回以上「手洗い」をするようになるといった強迫神経症、うつ病が発現。インフルエンザは軽快。投与中止4日後、1日に60回以上「手洗い」し、周りの物に触れようとしない。メンタルクリニックにて洗浄強迫障害と診断される。投薬されるも症状改善なく、1日に7～8回入浴する状態となる。食欲も著しく低下。投与中止21日後、ロープで首吊り自殺しようとする。その後も自殺願望さらに強くなる。投与中止55日後、夜、突然顔面より上半分に筋肉の強張出現。救急受診し、筋弛緩剤投与され改善。その後も自宅で療養中。	異常-176	
203	B-07011932	男性	12歳	150 mg	アセトアミノフェン	異常行動	軽快	夜、発熱にて救急受診。インフルエンザ確定診断にて陰性で、抗生剤と解熱剤を処方。翌朝、受診。受診時38.3℃で救急にて処方されていた薬は終了。インフルエンザ確定診断実施したところ、B型と判明。発熱以外特に訴えなく所見もないようなので、リン酸オセルタミビル等を処方。服用1日目、深夜、寝ていたが突然起きて寝室から飛び出し、廊下を走った。裸足で飛ぶように走った。服用開始から3日目、朝、本人は自分の行動を全く憶えていなかった。平熱に戻り元気が良いとのことで、本剤服用中止を指示。	異常-177	
204	B-07013228	男性	12歳	150mg	麻黄湯	異常行動	回復	前日より39.1℃の発熱あり。インフルエンザA型陽性との診断受け、リン酸オセルタミビル等を処方。本剤を服用し、就寝。夜、気持ちが悪いとトイレへ行った。トイレから出てきてうわ言で「屋上が、屋上が・・・。」と言って玄関から出ようとしていたので両親2人がかりでおさえつけた。その後本剤中止。	異常-178	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
（販売開始（平成13年12月）から平成21年3月31日まで）

No	識別番号	性別	年齢	一日用量	服用薬	副作用	経過	経過の概要	副作用No	備考
205	B-07013229	男性	12歳	150 mg	フマル酸クレマスチン 臭化水素酸デキストロメトラン カルボシステイン トラネキサム酸	異常行動 異常行動	回復 回復	インフルエンザB型発症のため、リン酸オセルタミビルを朝、夕2回服用。深夜、急に起き上がって服を脱ぎ、部屋の中を歩き、お茶を飲んだ。ベランダに出て乗り越えようとしたのを母と祖母で止めて室内へ連れ戻した。体温は37.9℃。40分くらいで再び眠りについた。その約3時間後、寝ている状態でベッドでバタバタして話をしていた。目はグルグル回ってまわった。40分くらいで再び眠りについた。その後、異常行動は回復。	異常-179	
206	B-07013305	男性	12歳	不明		異常行動	回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル服用開始。異常行動（走り回る、顔つきがおかしい等）が発現。その後、異常行動は回復。	異常-180	
207	B-07013374	女性	12歳	75 mg		異常行動 幻覚 妄想	回復 不明 不明	夕方、B型インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。何も持っていないのに1つ持っていると言い、外に出ようとするので、父親が側に付き、外に出ようとするのを制止した。未明に落ちつく。	異常-181	
208	B-07013380	男性	12歳	150 mg	鎮咳配合剤(1) プロピオン酸フルチカソン ベンジル酸ベボタステン 小青竜湯 麻杏甘石湯	落ち着きのなさ	回復	インフルエンザA型治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。服用後、突然2階階段を走り降りる。夕方、本剤服用後、やはり不穏状態となり、家族が制止する。	異常-182	
209	B-07013382	男性	12歳	150 mg	アセトアミノフェン 乳酸リンゲル液(マルトース加)	異常行動	回復	インフルエンザA型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。昼、夕、本剤服用。2回目服用4時間後、40.2℃の発熱、脱水に対して、アセトアミノフェン服用。輸液点滴静注開始。その後、睡眠。点滴終了し、抜針した所、走り出した。服用2日目、異常行動回復。	異常-183	
210	B-07013388	男性	12歳	75 mg	クラリスロマイシン アセトアミノフェン	異常行動	回復	39℃の発熱あり、インフルエンザB型の判定のもと、夕方、リン酸オセルタミビル服用。未明、もうろう状態発現。急に起きて、ベッドの上で飛びはねて2階から下に階段を駆け降りて、下で尿、便を失禁した。	異常-184	
211	B-07015893	男性	12歳	75 mg		異常行動 異常行動	回復 回復	朝、発熱37℃台。夜、発熱39.2℃。夜間診療所にてインフルエンザA型陽性のため、リン酸オセルタミビル処方。本剤初回服用1～2時間後、閉まっていた自室2階の窓とシャッターを開けて、飛び降りた。幸いテラスの屋根があり外傷認めず。飛び降りた際には支離滅裂な話をしていた。親が不安になり、一階の部屋で一緒に寝かせた。翌朝、部屋から一人で出て行こうとした。「トイレ？」と尋ねると、意味不明の返答。「こちらで寝なさい」と言うと、横になり眠った。体温38.2℃。午前、入院。服用開始4日目、本剤は継続したが、異常行動の再発はなく、元気に退院。	異常-185	